

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2023年7月9日
明治大学の所属学部・研究科	国際日本学部(学部/学科/研究科/専攻等)
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2023年7月12日
明治大学卒業予定年月	2025年4月
留学先大学について	
留学先国	オーストリア
留学先大学	ザルツブルグ大学 (日本語名) Universität Salzburg(現地言語名)
現地使用言語/授業使用言語	ドイツ語、英語/英語、ドイツ語
留学期間	2022年9月～2023年7月
留学先大学で在籍した学年	3年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語):政治学部 (現地言語での名称):political science <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 記入例:1学期/4月上旬～7月下旬、 2学期/9月中旬～2月上旬	1学期:9月下旬 ～1月下旬 2学期:3月上旬～6月下旬 3学期: ～ 4学期: ～
学生数	18,000
創立年	1622年

留学費用

留学費用項目	現地通貨 (euro)	日本円	備考
授業料	200+70	4万円	ドイツ語の授業と一学期ごとの在学費です
宿舍費	260~405/月	4万~6万/月円	ルームメイトがいる部屋と1人部屋で値段がちがいます
食費	300/月	4万/月円	食費頑張って削っても月200euroが限界でした
図書費	20	3000円	本を買わないといけない授業が一つだけだったためです
学用品費	0	円	
携帯・インターネット費	20/月	3000/月円	Hoffer というス・パ・で買える HoTSIM を使いました
現地交通費	137/semester	円	Salzburg Klimatiket という定期券(□大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	200/月	3万/月円	
被服費	100/月	2万/月円	古着屋さんや無料の服交換イベントがたくさんあります
医療費	100~200	円	保険会社から後からもらえるため、実質ゼロではあります
保険費	79/月	円	形態:feel safe というネット申し込みができる保険
渡航旅費	1000	15万円	往復
ビザ申請費	0	円	
雑費	100/月	1万5000/月円	
その他		円	
その他		円	
合計	12,984euro	177万円	

渡航関連

渡航経路		
往路 出発地:成田	目的地:ウィーン	経由地:アブダビ
復路 出発地:サルツブルク	目的地:羽田	経由地:イスタンブール
渡航費用		
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金:		
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:エティハド空港 料金:73,490 復路 航空会社:Turkish airline 料金:128,460 ∴ 合計:201,950		

航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:trip.com) <input type="checkbox"/> その他()	
滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:Internationale Kolleg, Haus Paracelsus) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ	
2)部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 1)	
3)共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> ハス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
4)住居を探した方法:	
一つ目の寮はネットだと waiting list に入れられて全く見つからなかったので直接寮に出向いて交渉したら、waiting list を飛ばして見つけることができました。二つめの寮は OeAD というサイトで見つけました。	
5)感想(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
<p>共有キッチンがあるところだと友達を作るのが簡単だし、ご飯もくれたりするので食費も浮くと思います。私の一つ目の寮は部屋の中にキッチンがあったので、わざわざ外に出ないと友達に会えなくて大変でした。ルームメイトとうまくやるのは本当に難しい人には難しいので、部屋は個人で社交場がたくさんある寮だとストレスがないのかなと思います。北の中央駅の方に家を持つと、登校の時に旧市街を見ながら登校ができていいとおもいました。私は 2 つの寮とも南の salzburg Süd 駅の近くで旅行に行くときに flixBus という夜行バスが使いやすかったです。</p> <p>OeAD にもらったザルツブルクの家探しのサイトです *https://studentenheim.at/ *https://guesthouse.at/ *https://www.home4students.at/en/our-dormitories/dormitories-salzburg/ *https://www.oejab.at/en/students/dormitories/strubergasse *https://www.akademikerhilfe.at/en/schwarzes-rossl/19 *https://www.egger-lienzheim.at/?lang=en *https://www.studentenheimesalzburg.at/ *https://studentenheim.techno-z.at/en/news/ *https://www.tritos.at/ *https://www.studentenwohnheim-salzburg.at/en/</p>	

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院、学内の診療所)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (治療を受けた場所: Dr. Herbert Sailer 現地の耳鼻科)
2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等: ともだち)
3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
<p>友達から危険なクラブや薬やお酒を飲むと危ない友だちの話などを聞きましたが、夜中に女性が1人で帰ったり、バスで寝落ちしても殺されないような街なので本当に安全だと思います。東京の一部地域より全然安全な街だと思います。イベントがあると weed の匂いがしたりしますが、危険な思いをしたことはあまりありません。</p>
4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)
<p>2つ目の寮のインターネットが不安定だった。キッチンだと安定するのでそこで勉強をしたり youtube を見たりした。留学9ヶ月目に sim にチャージした 20euro が1日でなくなった事があった。チャージするだけでなく、Tariff というパッケージを使い切る前に、Tariff の更新をしないと、ものすごいお金がかかるようなので、気をつけた方がいい。EU からでたら、EU 内で買った SIM カードでは異常にデータ量を取られるので気をつけたほうがいい。私はそれで 60euro 取られました。</p>
5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地でも外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)
<p>現地で銀行口座を開設して wise で送金してもらった。</p>
6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。
<p>小蠅ホイホイは現地でもあるのだが、高いし、性能もそんなによくなかったが、日本の使ったら一瞬でキッチン中の小蠅を捕まえられたので小蠅ホイホイは良いと思いました。日焼け止めは 50spf のものは高いので持ってきた方がいいかもしれません。</p>
7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)
<p>クレジットカード払いました。セメスターが始まる一週間前です</p>

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Deutsch als Fremdsprache A2	ドイツ語 A2
科目設置学部・研究科	german as a foreign language
履修期間	winter semester
単位数	11ects
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアル (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が4回
担当教授	Sebastian
授業内容	ドイツ語のテキストを使った授業
試験・課題など	四回の小テストと二回のテスト
感想を自由記入	先生の語学に対する情熱と political correct でいようとする態度が理想的な指導者で非常に好きだった。レベルの違う生徒がたくさんいるなかで、うまく上から下まで掬い上げた先生だと思う。一人一人合った語学の学び方があることを理解していて、何かを強要することなく、たくさん選択肢を与えようとする態度であった。オーストリアの文化にも触れさせてくれたし、言語に対する理想的な態度を見れた。言葉の選び方で人にどのようにみられるのか、どういう自分としてみられたいのかを考えさせられたり、さまざまな文化に精通した人だったので、いい指導者だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Cultural Studies English around the world	世界の英語、社会言語学
科目設置学部・研究科	Anglistik und Amerikanistik
履修期間	winter semester
単位数	4ects
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	セミナー(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	Bradley
授業内容	世界中の英語の音声的特徴や文法的特徴など網羅的に学ぶ
試験・課題など	written test, group presentation, final paper
感想を自由記入	今まで会った教授のなかで一番最高のハイプスの持ち主だと思う。アロハシャツをきていて授業をして、非常に優しく話しかけやすい。しかしニコニコしながらレベルの高いことを要求してくる感じはある。授業内容は master と bachelor の間のレベルだったが introduction to the study of Linguistics を受け授業準備の reading をしておけばついていける。世界中で話されているさまざまな英語を見て、standard とはなにか、を考えさせられる良い授業だった。が、final paper の提出を忘れて単位は落とした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
pronunciation and intonation -british english-	イギリス英語の発音とイントネーション
科目設置学部・研究科	Anglistik und Amerikanistik
履修期間	winter semester
単位数	2ects
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアル (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	Prof. Fromann
授業内容	イギリス英語の発音の理論理解と実践
試験・課題など	written exam, 音声提出, final exam
感想を自由記入	やりがいはあるがプレッシャーの多い授業だった。教授は完璧なイギリス英語を話す人でかなり完璧主義者だが、根気強く発音矯正してくれる先生だった。周りは全員オーストリア人の生徒でペークにより現地の友達ができる。しかし教授がよく飛ばすオーストリア発音のジョークは全くついていけなかったので、埋もれないように必死だった。毎週木曜日に office hour があり、一対一で発音矯正をもらえる。口の中で何が起きているのか理解できるし、実践型の授業なので、自分の発音が変わって行くのを見るのが面白いが、言語に対する態度は上の English around the world と対極に行く授業ではあるので、自分の中で折り合いをつけるのは難しかった。一番大変だったのに単位変換したら1単位以下なのは納得いかない。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
introduction to study of Linguistics		言語学入門	
科目設置学部・研究科	Anglistik und Amerikanistik		
履修期間	winter semester		
単位数	3 ects		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 90 分が 1 回		
担当教授	Schwarzl Anja		
授業内容	言語学を網羅的に学び、専門用語の理解をする		
試験・課題など	final exam		
感想を自由記入	半学期で終わる授業だし、単語の理解がメインなので非常にわかりやすかった。授業の最初に復習の時間があり、準備も復習も必要ない。テスト前に、ほぼテストと同じ内容の Kahoot を用意してくれるので、絶対に合格できる。講義型だが、復習としての質問をハンバン飛ばしてくるので、準備も復習も特にしなくても理解できて、一番簡単で面白い授業だった。絶対とった方がいい。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
introduction to English Linguistics		英語言語学入門	
科目設置学部・研究科	Anglistik und Amerikanistik		
履修期間	summer semester		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義、チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 90 分が 2 回		
担当教授	Pflaeging Jana		
授業内容	英語言語学を網羅的に学ぶ		
試験・課題など	final exam		
感想を自由記入	準備として読むものは多いし読まないところの理解できなかったの少し難しかった。スライドもわかりにくい。チュートリアルでテスト勉強とわからないところの確認ができるのは非常に良かった。テストはチュートリアルから半分でなし、チュートリアルの答えは後からではもらえないので、履修するならばぜひ参加した方がいいが、chatGPT を使えば大体の答えは正しく見つけれらるのでどっちでも良い。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
phonologie1 and phonetics	音声学と音韻論
科目設置学部・研究科	Anglistik und Amerikanistik
履修期間	summer semester
単位数	4
本学での単位認定状況	4 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 90 分が 1 回
担当教授	Thomas
授業内容	英語の音声学、音韻論
試験・課題など	テストをすると言っていたがせず、ペアの発音を記述する課題のみ
感想を自由記入	音声学の研究や障害者の発音矯正で使われる器具をたくさん見せてくれたり、自分の研究で使った音声資料をたくさん見せてくれて面白かった。音声学をまなんだ先にあるキャリアを意識させられて、将来についても考えさせられた。さまざまな発音障害について学び、それに対する治療方法も学べて面白かった。テストは mock exam とほとんど同じだったのでとてもありがたい授業だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
introduction to the study of Literature	文学入門
科目設置学部・研究科	Anglistik und Amerikanistik
履修期間	summer semester
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 90 分が 1 回
担当教授	Sarah
授業内容	英語文学を網羅的に学ぶ
試験・課題など	final exam
感想を自由記入	半学期で終わる授業だし、テストも簡単なので、単位稼ぎにはもってこいだと思う。興味がない分野だったのでつまらなかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
introduction to the study of Anglophone culture	アングロフォンカルチャ入門
科目設置学部・研究科	Anglistik und Amerikanistik
履修期間	summer semester
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、チュートリアル (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 90 分が 2 回
担当教授	Joshua Parker
授業内容	アングロフォンカルチャの歴史
試験・課題など	final exam
感想を自由記入	周りでこの授業が好きな人を見たことがなかったし、私も好きではない授業だった。分厚い歴史書をそのままぶん投げられているような情報量で何が大事なのか汲み取るのが非常に難しかった。この教授の授業スライドは画面いっぱいの文字ばかりだが、パワーポイントやラップトップを使った学生時代を過ごしていない人が授業しているので、納得である。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
performing Europe's cultural heritage	欧州演劇文化論
科目設置学部・研究科	Anglistik und Amerikanistik
履修期間	summer semester
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 90 分が 1 回
担当教授	Joshua Parker, Sabrina Scholl, Ralph Poole
授業内容	欧州の演劇文化について学ぶ
試験・課題など	2000 文字の二つのテーマに沿ったエッセイを一週間で書き上げる
感想を自由記入	授業内容はかなり難しかったと思う。思想と表現が結びついている時の授業は面白かったが、演劇や舞台芸術の歴史に興味がある人は取ると良いと思う。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
gender, diversity and equality	ジェンダー、多様性、平等
科目設置学部・研究科	politikwissentshcaft
履修期間	summer semester
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 90 分が 1 回
担当教授	Zoe Lefkofridi
授業内容	おもにフェミニズム
試験・課題など	online 選択式テスト
感想を自由記入	女性の話だけで、LGBTQ+のはなしや男性に対する社会者別の話は一切ないので、少し不満ではあった。たまに証拠なしの誰でも言えるような発言をしていて、かなりあやしくも感じたが、ゲストスピーカーと呼ばれた学者が自身でしている研究の話はとても興味深かった。単位が必要な人はぜひこの教授の授業を全てとったほうがいい。出席はないのと、お忙しい教授なので提出物のチェックもあまりしていないようだった。そしてテストはオンラインである。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) 其他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例:語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、
期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	航空券購入
	8月～9月	留学開始、滞在先の確保、ビザ申請
	10月～12月	ビザ取得
留学/帰国年	1月～3月	冬学期終了、夏学期開始
	4月～7月	留学終了
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

ヨーロッパの知識が一つもなく、英語圏ではない先進国に行こうと言う理由と、音楽をやっていたので名前は知っていたという理由でザルツブルグを選んだ。ザルツブルグは小さい街なのに大学がたくさんあり、コロナ明けで留学生と現地の学生が一斉に家を探したこともあり、私の周りでは寮が見つけれず、 Hostel暮らしや airbnb 暮らしの子がたくさんいた。家探しは、いちばん最初を試してみようと思う。

Visa の申請の役人たちは英語を全く喋らないので、覚悟していくと良い。愛想は信じられないくらい悪いが、そういう国民性ではあるので、傷つく必要はない。一方、住民登録や解除する役所の役人は英語が話せるので安心するとよい。

visa は現地で申請したが、できたら visa は留学前にあったら良かったと思った。生活に圧倒されるので、役所の手続き全てがストレスだった。

大学のキャンパスは町中にあるので、最初、どこに行けばいいか迷うと思う。町中で見かける PLUS という緑の文字は全てキャンパスだと知らないで行ったので非常に戸惑った。文系が使うのは Unipark か Rudolfskei だと思う。最初は事務手続きをするためだけの場所があるのでそこに行こう。

大学のライフハックとしては、study drive、studocu というサイトで過去の生徒が書いた授業ノートやテスト対策方法が見られるので使ってみると良い。

留学生の友達は ESN と言う、EU の留学プログラム Erasmus が主催するグループがあるので、その whatsapp group や Instagram で発信されるイベントを使って作れば良い。ドイツ語の授業を取るのも良い。またドイツ語と日本語の言語交換のグループが私が留学中に作られたので、探していると良い。現地の友達は、寮と現地の学生がとるような英語の授業で作れる。

服は Naturwissenschaft 主催の無料洋服交換イベントがあるのでそこで掻っ攫えば良いと思う。交換と聞いているが、持参しなくても服をもらえるし、無料でご飯を食べれたりするので、ぜひ探してほしい。plus green campus という名前を Instagram で探してみるといい。

意外と 1 人でいる時間が多いので、趣味があると良いと思う。とくに一人暮らしが初めてな人は、考えすぎて鬱にならないように気をつけてほしい。留学中なのに、英語を話していないで大丈夫だろうか、と不安になるかもしれないが、1 人の時間も受け入れて、その時間でできることを探すと良い。幸い、ザルツブルグには山がたくさんあるので、ひとりで山にいくのもいいし、1 人でふらっと入ってみたお店で、あらぬ出会いがあるのであまり自分にプレッシャーをかけないでほしい。私の現地の日本人の友達はパズルを始めたり、ケーキ作りをしたり、新しく趣味を始めていた。1 人の時間はとても大事なので、自分にストレスを与えずに、社会生活とうまくバランスを取ってほしい。

モーツァルトテムと言う音大の人と友達になると、明治大学では出逢えない日本人の人生を聞けると思う。彼らはザルツブルグで長く生活をしているのでぜひ頼ると良い。彼らが主催するコンサートは学生ならではの自由な演出のコンサートもあり、非常に面白い。クラシック音楽の街ならではの体験ができると思う。

物価が高いが、ドイツに行くと安くなる。Freilassung という salzburg からバスで 1 時間くらいの場所はドイツなのに klimaticket(ザルツブルグの公共交通機関が乗り放題のカート)で行けるので、生活に慣れたら行ってみると良いと思う。3 分の 1 くらいの値段で野菜が買える。

オーストリアの国民性はよく「彼らの目は何も語らない」といわれているらしく、友好的には思えないかもしれないが、一度仲良くなれば、自分たちのスペースに入れてくれるので、怖がらないで良い。

雨が異常に多いし曇っているし雪がたくさん降る。晴れてないと鬱になるタイプの人はぜひ気をつけてほしい。しかし 6 月 7 月には最高の夏が待っているので頑張るといいし、曇りの日も楽しめる人は向いていると思う。私の周りは、一度は留学中病んでいるので、そういうものだとして受け入れて、たくさん助けを求めて楽しんでほしい。ザルツブルグは、物価は高いし日本ほどではもちろんないが保守的だし、日曜日にお店は開かない街だが、自然と街へのアクセスがどっちも簡単に田舎すぎず都会すぎない完璧なサイズの街だと思う。一年もいればどこで何が起きているのかわかるようになる。ザルツブルグの文化を楽しんで Instagram のキラキラ留学生に惑わされそうならぜひミュートして、自分としっかり向き合って、たくさん悩んで、良い時間を過ごしてください。